

“ちいさな企業” 成長本部（北海道旭川市）
議事概要

中小企業庁

- ・ 日時：平成25年10月4日（金） 14：00～16：00
- ・ 場所：北海道旭川市（旭川市グランドホテル）
- ・ 「“ちいさな企業” 成長本部」行動計画等に関する取組をご紹介いただくとともに、意見交換を行った。
- ・ 参加者からの主なご意見は以下のとおり。

＜中小企業・小規模事業者＞

- 全国をターゲットとしているが、認知度を上げるのに苦しい時間が長く続いた。
- 旭川市は、地域のリソースといわれる1次産品は他の地域に負けないものがある。しかし、物流費が高額。
- 国の力も借りて、輸出のできる小さな商社を設置して、北海道発アジア・世界行きを作っていきたい。
- 専門店を人を育成するには長い時間がかかる。専門的な仕事に就きたいと考える小中学生向けの社会見学があればいい。
- 商売をしていく上では、物ではなくノウハウを発信していくのは大変。専門職を発信する媒体があればありがたい。
- 中小企業は夢とロマンはあるが、資金繰りが一番困っている。
- 零細企業が海外に出るのが大変と実感している。地域に資源があるので、一社だけでなく地域の異業種も出せる制度がほしい。
- 商工会議所のジャパンブランドに参加している。初めに商工会が費用を負担し、後で請求される仕組みなので、最初の費用の負担が軽くなっているありがたい。
- 若者の雇用が問題になっている。旭川の中で雇用を確保できない状況。

- リスクが高いことと、言葉の壁があるため、小さな企業では海外進出は難しい。グループや地域に窓口を設けて商品を紹介してもいいのではないか。
- 商店街の抱えている課題として組合加入が減っている。加入条例があると、ありがたい。
- 事務や経費を考える時間がない。行政の施策を受ける時間・体制がないのが現状。

<支援機関等>

- 厳しい状況が続いているが、アベノミクスによる明るい材料が増えた。
- 有効求人倍率は良くなっているが、雇用のミスマッチがある。
- 認定支援機関になったところ、活用していきたい。専門家派遣はありがたい。
- 認定支援機関の存在があまり知られていない。まず制度の認知が大事。
- 最近企業がいろんなことに挑戦している。小さなイノベーションがある。
- 小さな企業の自己資本の強化を支援してほしい。挑戦には基礎体力が必要。自己資本を毀損すると融資が受けられなくなる。自己資本を補完するような政策をしてほしい。
- 創業塾では約1割が創業する成果があったので、再開してほしい。



以上